

from the world
世界の国から

ナイジェリア連邦共和国

Federal Republic of Nigeria



ハッジジャガーナ・ワキル・ムスタファ女史

ナイジェリア投資促進委員会
投資促進部長補佐

Ms. Hajjagana Wakil MUSTAPHA
Assistant Director

Nigerian Investment Promotion Commission (NIPC)



ラティフ・グバデボワレ・サラミ氏

ナイジェリア商工省
中小企業局工業担当次長

Mr. Latifu Gbadebowale Salami
Deputy Director-Industrial

Federal Ministry of Commerce and Industry (FMCI)



首都 アブジャ(1991年ラゴスより遷都)
面積 92.4万平方キロメートル(日本の約2.5倍)
人口 1億4000万人(2007年 UNIFPA)
政体 連邦共和制
元首 ウマル・ムサ・ヤラドゥア大統領
言語 英語(公用語)、各民族語
通貨 ナイラ
日本からの主な進出企業 16社(味の素、住友化学、他)

「経済改革プログラム」を成功させたアフリカ最大の市場

肥沃な土壤に恵まれた世界有数の産油国

ナイジェリアはアフリカ中西部、ギニア湾に面する広大な国土とアフリカ随一の人口を有し「アフリカの巨人」と呼ばれています。英語による教育水準が高く、勤勉で親しみやすく、もてなし上手な国民性が特徴と言えます。今回は、我が国の最新の投資環境やビジネス機会を紹介すると共に、日本の商習慣を学ぶために来日しました。

石油産業からの脱却

これまでのナイジェリア経済は、総歳入の70%を超える豊富な石油資源(OPEC第5位の産出量)に依存してきました。しかしオイルブーム後の経済状況の悪化を受け、現在は石油重視政策からの脱却を目指し、広大で肥沃な土壤から生産される農産物の加工や石油以外の有望な地下資源の開発に力を注ぎ始めています。また、ここ数年は5%台の経済成長率を維持し、民間セクターを原動力に、著しく変貌を遂げています。農産品関連では採油用ゴマや



ラゴス市街風景
(写真提供:『Mr.O-SAMの出張徒然旅雑記』より)

キャッサバなど有望な商品が多い中、加工・保存技術やパッケージなどの付加価値を高めることで国際市場にも対応することが可能であり、大きなビジネスチャンスがあります。また、味の素などがナイジェリア国内市場向けの製品を展開していますが、アフリカ最大の人口を有する市場であることから、今後は自動車の国内での組み立て販売などの分野からも進出が期待されます。

世界経済不況を打破する

グリーンフィールド

海外からの投資を受け入れる環境も整いつつあります。レッキ自由貿易区を始めとする貿易加工区では、インフラも整備されています。現状では電力

ラゴス・ビクトリア島の海岸 (写真提供:高柳 真敏)

が十分とはいえませんが、2009年現在6千メガワットの発電量を2015年までには2万メガワットまで引き上げる予定です。鉄道網や道路の再整備も進み、また国内6か所の国際空港や内陸に港を建設し、外洋と結ぶなど交通インフラの整備にも力を入れています。現在、世界同時不況で国際的に経済が停滞している中、巨大な資源と市場を有するアフリカは、グリーンフィールド(新たな大地)として注目されています。ナイジェリアは2020年までに世界のトップ20に入る経済大国を目指しています。

日本は中国などに比べて投資に慎重な姿勢をとっており、進出も遅れていますが、日本の持つ高い技術力が大きなビジネスチャンスと結びつくことは間違いありません。様々な分野で日本からの投資・技術移転を期待しています。

